

# 移動教室の報告【6年生 日光移動教室 6/4~6/7】

学校での6年生は、生活団や委員会・クラブのリーダーとして過ごしてきました。6年生だけで過ごす日光移動教室は、これまで学校のために頑張ってきたことへの“ごほうび”ではなく、“いきぬき”でもなく、本物の6年生になるために自分たちの生活を見直すための大事な機会です。

おもに下級生のお世話などに熱心に取り組んできた6年生ですが、自分の身の回りの整理、時間のけじめ、ルールやマナーの遵守など、案外ルーズな面は否めません。「人の前ではきちんとしているようでも、見てないところではだらしない」では、信頼されるリーダーとは言えないでしょう。「他の人たちのためではなく自分たちの手で自分たちの生活をしっかり作り上げる」ことを目標に、豊かな自然、伝統ある歴史・文化を誇る日光の地で、移動教室を過ごしてきました。

二社一寺見学、フリータイム活動、クロスカントリー、スポットガイド日光、和楽会（レクリエーション）など、様々な活動に取り組んできました。

特に、2日目のフリータイム活動は、これまで3年生から積み上げてきた活動の集大成といえます。伝統工芸「日光下駄」、「日光彫り」、歴史、民話、鳥、魚（水質）、動物、岩石の8グループに分かれ、自分のテーマについて事前に調べたり、講師の先生に質問を送ったりしてきました。そして、6月26日に発表会を開催し、日光で実際に見たり体験したりした成果を発表しました。



クロスカントリー、スポットガイド日光の活動にしても、これまで培ってきたものを結集して、自分たちなりに成果をあげることができたと思います。詳しい様子につきましては、次に述べますので、6年生としての成長を感じていただければ幸いです。

## <1日目> 二社一寺見学

晴天の中、世界遺産に登録されている「東照宮・二荒山神社・輪王寺」と「華嚴の滝」を見学しました。鳴き龍の間では、拍子木の音に反響して聞こえる、龍の鳴き声といわれる響きに真剣に耳を傾けていました。この日は観光客が比較的少なく、ゆっくりと見学することが出来ました。この活動は、4日目のスポットガイド日光につながっています。建造物を実際に見たことで、ガイドするイメージを持つことができました。



その後、いろは坂をバスで上り「華巖の滝」に向かいました。「華巖の滝」では滝が打つ水の勢いに驚きながらも自然の神秘に見入っているようでした。夕方には、お世話になる「湯の家旅館」に到着し、箱根の時とは一味違う温泉に入り、汗を流して疲れを取りました。

### ＜2日目＞ 日光フリータイム学習



この日は、自分たちのテーマにそって学校で学習してきたことを現地の自然や、専門家の方々に会い、さらに学びを深めるフリータイム学習を行いました。

グループによって、日光の伝統工芸品である日光下駄や日光彫りを体験したり、奥日光の自然の中を歩きながら、動物や植物、岩石などに触れたり、重要な文化財を見て回ったりしていきました。講師の先生と一緒に自然の中を歩いたり、ものを作ったりする中で、子どもたちは本物に触れる大切さを感じました。途中雨に降られながら活動をしたグループもありましたが、そんな天候を気にせずに、講師の先生方のお話を熱心に聞いている様子や自分たちが抱いた疑問や知りたいことを積極的に講師の先生方に聞いている姿には、今までのフリータイム学習で積み上げてきた経験が感じられました。

### ＜3日目＞ クロスカントリー

朝6時に起床し、2食分を持ってグループごとに出発しました。クロカン長を先頭に自分たちの考えたコースを地図で確認しながら湯の湖・戦場ヶ原・中禅寺湖の周りを歩きました。グループで「大丈夫?」「頑張ろう。」と声をかけ合い助け合っている姿を見て、友情と思いやりが感じられました。自然の中で遊んだり、植物に触れたりすることもできました。帰り道に急な天候の変化

で、雨に遇ったグループは、びしょ濡れになりましたが、無事ゴールした後は達成感に満ちた表情をしていました。



#### ＜4日目＞ スポットガイド日光

二社一寺のそれぞれの場所で、スポットガイド日光を行いました。初めは緊張していて、声をかけるのも恥ずかしそうにしていたのですが、回数を重ねるごとに自信がついて、ガイドも上手になっていきました。もっと分かりやすく伝えたいという思いをもち、工夫してガイドの仕方を変えていました。外国人の方に英語でガイドしたグループもありました。観光客の方に「勉強になったわ。」「よく調べているね。」と褒めていただき、満足そうな表情をしていました。



自分たちで生活を作り上げるという目標を持って過ごした4日間。子どもたちの使った部屋を最後に見て回っていると、ふすまの中にそっと宿の人への手紙を置いているのを見つけました。子どもたちの大変心温まる行動に、優しさを感じることができました。去年の移動教室では見られなかったことで、子どもたちの成長が感じられ、嬉しく思いました。

最後の移動教室で、子どもたちは協力し、自分たちで生活を作ることができました。今後の学校生活や臨海生活に活かしていけるよう、教師共々ががんばっていきたいと思います。そして、下級生たちが憧れる6年生になってくれることを期待しています。